

平成19年度 弥彦村一般会計及び特別会計歳入歳出決算審査意見書

第1. 審査の概要

1. 審査の対象

- (1)平成19年度 弥彦村一般会計歳入歳出決算
- (2)平成19年度 弥彦村国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- (3)平成19年度 弥彦村老人保健特別会計歳入歳出決算
- (4)平成19年度 弥彦村介護保険特別会計歳入歳出決算
- (5)平成19年度 弥彦村競輪事業特別会計歳入歳出決算
- (6)平成19年度 弥彦村温泉事業特別会計歳入歳出決算
- (7)平成19年度 弥彦村宅地造成事業特別会計歳入歳出決算

2. 審査の期間

平成20年8月1日・4日の2日間

3. 審査の場所

弥彦村役場 委員会室

4. 審査の手続き

村長から送付された、一般会計他6特別会計の歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書及び各基金の運用状況を示す書類について、法令の規定に従って作成されているかどうか確認し、これに記載された計数について、各種関係帳票類及び証書類と照合、あるいは内容の検討を行い、併せて各課で作成された決算審査資料に基づき、関係職員の説明を聴取して、計数の正確性及びに予算の執行、管理の適正について、慎重に審査を実施した。

第2. 審査の結果

(1) 決算

審査に付された一般会計他6特別会計歳入歳出決算書、付属書類、各基金運用状況に関する調書等は、いずれも関係法令に準拠して作成され、計数は関係諸帳簿と符合して正確であり、出納諸帳簿と歳入歳出差引額は、各金融機関の残高証明書(現金は、例月出納検査で確認済み)とそれぞれ符合したので、決算計数は違算ないものと確認し、適正なる決算であることを確認した。

(2) 財産

財産に関する調書については、公有財産、債権、基金等、各調書の計数は誤りのないことを確認した。

第3. 審査の個別意見

各会計ごとの審査概要と意見については、次のとおりである。

1. 平成19年度 一般会計の概要

一般会計決算額は、収入総額は34億2,219万2,588円(対前年度比93.28%)となった。一方、歳出は人件費、物件費の削減に努め、支出総額は33億427万9,192円(対前年度比96.13%)となっている。

本村の財政状況は、税源移譲で村税が増収となったものの、地方譲与税・地方交付税などで減収となり、これからも減額が予想されるなかで、これまで国と歩調を合わせて実施された、経済対策に伴う借入金の返済など極めて厳しいものがあると思われるので、自主財源の確保を図りながら、歳出全般にわたり効率的・計画的執行に努力されたい。

(単位:円)

区 分	平成19年度	平成18年度	比 較	
			増減額	増減率%
収入総額	3,422,192,588	3,668,822,080	246,629,492	6.72
支出総額	3,304,279,192	3,437,195,094	132,915,902	3.87
翌年度への繰越 (形式収支額)	117,913,396	231,626,986	113,713,590	49.09

(1) 実質収支について

実質収支額は1億1,791万3,396円の黒字で、前年度に比べて9,605万7,590円(44.89%)の減額である。

(単位:円)

区 分	平成19年度	平成18年度	比 較		
			増減額	増減率%	
形式的収支額	117,913,396	231,626,986	113,713,590	49.09	
翌年度へ繰越すべき財源	継続費逓次繰越	-	-	-	
	繰越明許費	0	17,656,000	17,656,000	皆減
	事故繰越額	-	-	-	-
	計	0	17,656,000	17,656,000	皆減
実質収支額	117,913,396	213,970,986	96,057,590	44.89	

(2) 決算指数について

(ア) 実質単年度収支額

実質収支額の1億1,791万3,396円に、財政調整基金他積立金1,236万5,000円を加え、前年度繰越金2億1,397万986円、基金繰入金300万円を差し引いた実質単年度収支額は、8,669万2,590円の赤字となっている。

実質単年度収支額の推移

(単位:円)

区 分	平成19年度	平成18年度	平成17年度	平成16年度	平成15年度
実質収支額	117,913,396	213,970,986	191,032,256	191,931,114	132,013,254
基金積立額	12,365,000	13,800,000	45,150,000	59,627,000	64,215,000
前年度繰越金	213,970,986	191,032,256	191,931,114	132,013,254	62,705,762
基金取崩額	3,000,000	10,000,000	38,000,000	93,300,000	229,312,000
実質単年度収支額	86,692,590	26,738,730	6,251,142	26,244,860	95,789,508

(イ)決算指数

厳しい財政状況下にあつて、公債費比率及び財政力指数については、年々向上されているが、実質収支比率及び経常収支比率がともに悪化していることから、経常的経費の節減と経常一般財源の確保に努め、健全な財政運営を切に望むものである。

一般会計決算指数の推移 (決算統計資料)

区 分	平成19年度	平成18年度	平成17年度	平成16年度	平成15年度
実質収支比率	5.2%	9.6%	8.6%	9.0%	6.3%
経常収支比率	86.2%	82.9%	80.3%	80.4%	80.5%
公債費比率	9.3%	10.2%	10.6%	11.1%	11.7%
財政力指数	0.500	0.479	0.470	0.471	0.468

財政力指数 = 単年度数値

(3)歳入

(ア)歳入決算の状況

収入済額は、前年度に比べ収入済額で2億4,662万9,492円の減額となっている。また、調定額に対する割合は、97.24%で前年度に比べ0.43ポイント下回っている。

歳入決算の状況

(単位:円)

区 分	平成 19 年度	平成 18 年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
予 算 現 額	3,464,147,000	3,672,433,000	208,286,000	5.67
調 定 額	3,519,293,037	3,756,321,664	237,028,627	6.31
収 入 済 額	3,422,192,588	3,668,822,080	246,629,492	6.72
不 納 欠 損 額	1,492,093	4,326,847	2,834,754	65.52
収 入 未 済 額	95,608,356	83,172,737	12,435,619	14.95
予算現額と収入済額との比較	41,954,412	3,610,920	38,343,492	1061.88
収入済額の予算現額に対する割合	98.79%	99.90%		1.11
収入済額の調定額に対する割合	97.24%	97.67%		0.43

(イ)財源別歳入決算の状況

歳入を財源別に見ると、国・県依存財源は、村債を含め17億4,189万8,047円で、歳入決算額の50.90%を占め、自主調達財源は16億8,029万4,541円で49.10%である。

自主財源と依存財源別決算状況

(単位:円)

区分	平成 19 年度		平成 18 年度		比 較	
	決 算 額	構成比%	決 算 額	構成比%	増 減 額	増減率%
自主財源						
村 税	1,048,303,084	30.63	967,323,379	26.37	80,979,705	8.37
分 担 金 負 担 金	71,740,100	2.10	73,455,600	2.00	1,715,500	2.34
使 用 料 手 数 料	27,513,907	0.80	32,854,460	0.90	5,340,553	16.26
財 産 収 入	5,387,984	0.16	31,203,037	0.85	25,815,053	82.73
寄 付 金	20,116,332	0.59	23,096,662	0.63	2,980,330	12.90
繰 入 金	15,309,110	0.45	20,884,063	0.57	5,574,953	26.69
繰 越 金	231,626,986	6.77	198,826,256	5.42	32,800,730	16.50
諸 収 入	260,297,038	7.61	290,818,998	7.93	30,521,960	10.50
計	1,680,294,541	49.10	1,638,462,455	44.66	41,832,086	2.55
依存財源						
地 方 譲 与 税	71,163,000	2.08	137,655,260	3.75	66,492,260	48.30
利 子 割 交 付 金	4,002,000	0.12	2,928,000	0.08	1,074,000	36.68
配 当 割 交 付 金	3,300,000	0.10	2,553,000	0.07	747,000	29.26
株 所 得 交 付 金	1,770,000	0.05	2,047,000	0.06	277,000	13.53
地 方 消 費 税	80,454,000	2.35	81,323,000	2.22	869,000	1.07
自 動 車 取 得 税	28,735,000	0.84	31,688,000	0.86	2,953,000	9.32
地 方 特 例 交 付 金	7,612,000	0.22	20,233,000	0.55	12,621,000	62.38
地 方 交 付 税	1,072,049,000	31.33	1,100,504,000	30.00	28,455,000	2.59
交 通 安 全 交 付 金	1,409,000	0.04	1,624,000	0.04	215,000	13.24
国 庫 支 出 金	160,744,169	4.70	117,501,278	3.20	43,242,891	36.80
県 支 出 金	150,959,878	4.41	149,303,087	4.07	1,656,791	1.11
計	1,582,198,047	46.23	1,647,359,625	44.90	65,161,578	3.96
村 債	159,700,000	4.67	383,000,000	10.44	223,300,000	58.30
小 計	1,741,898,047	50.90	2,030,359,625	55.34	288,461,578	14.21
合 計	3,422,192,588	100.00	3,668,822,080	100.00	246,629,492	6.72

(ウ)歳入未済額の状況

収入未済額は、前年度に比べ1,243万5,619円(14.95%)増加して9,560万8,356円となっていることから、徴収に向けた対応を望むものである。

収入未済額 (単位:円)

区 分	平成19年度	平成18年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
村 民 税	8,600,901	6,000,075	2,600,826	43.35
固 定 資 産 税	85,289,765	75,068,362	10,221,403	13.62
軽 自 動 車 税	582,600	532,000	50,600	9.51
入 湯 税	1,016,410	1,397,620	381,210	27.28
開 拓 パ イ ロ ッ ト 分 担 金	70,780	70,780	0	0.00
児 童 福 祉 費 負 担 金	47,900	103,900	56,000	53.90
合 計	95,608,356	83,172,737	12,435,619	14.95

(エ)不納欠損額の状況

不納欠損額の状況は、厳しい経済状況下において文書及び電話での督促は勿論のこと、休日や朝夕を問わず訪問するなど、滞納金の徴収に努力されている結果、昨年に比べ283万4,754円(65.52%)減額となっている。今後も滞納金の徴収に努め、不納欠損額が減少するよう努力されたい。

不納欠損額 (単位:円)

区 分	平成19年度	平成18年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
村 民 税	359,446	595,747	236,301	39.66
固 定 資 産 税	1,132,647	3,531,200	2,398,553	67.92
軽 自 動 車 税	0	64,800	64,800	皆減
児 童 福 祉 費 負 担 金	0	135,100	135,100	皆減
合 計	1,492,093	4,326,847	2,834,754	65.52

(4)歳 出

(ア)歳出決算の状況

歳出の状況は、前年度に比べて支出済額は、1億3,291万5,902円(3.87%)減の33億427万9,192円となっている。支出済額の予算現額に対する割合は、95.39%となり、前年度に比較して1.79ポイント上昇した。

また、不用額は前年度より8,791万7,098円減の1億2,284万4,808円となっている。なお、小学校耐震工事で、3,702万3,000円を繰越明許費として、20年度へ繰り越す結果となった。

歳出決算の状況

(単位:円)

区 分	平成19年度	平成18年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
予 算 現 額	3,464,147,000	3,672,433,000	208,286,000	5.67
支 出 済 額	3,304,279,192	3,437,195,094	132,915,902	3.87
翌年度繰越				
継続費繰次繰越額	-	-	-	-
繰越明許費繰越額	37,023,000	24,476,000	12,547,000	51.26
事故繰越繰越額	-	-	-	-
計	37,023,000	24,476,000	12,547,000	51.26
不 用 額	122,844,808	210,761,906	87,917,098	41.71
(うち、予備費)	(90,310,000)	(187,662,000)	97,352,000	51.88
予算現額と支出済額との比較	159,867,808	235,237,906	75,370,098	32.04
支出済額の予算現額に対する割合	95.39%	93.59%		1.79%

(イ) 目的別歳出の状況

歳出の目的別決算では、民生費で前年度より2億3,549万85円の減額となったものの、土木費で7,914万3,952円の増額となり、総額では1億3,291万5,902円の減額となっている。

目的別歳出の状況

(単位:円)

区 分	平成19年度		平成18年度		比 較	
	決 算 額	増減率%	決 算 額	増減率%	増 減 額	増減率%
議 会 費	62,872,376	1.90	80,753,595	2.35	17,881,219	22.14
総 務 費	345,380,851	10.45	359,082,081	10.45	13,701,230	3.82
民 生 費	656,315,436	19.86	891,805,521	25.95	#####	26.41
衛 生 費	343,338,859	10.39	310,842,216	9.04	32,496,643	10.45
労 働 費	20,628,000	0.63	20,749,000	0.60	121,000	0.58
農林水産業費	161,065,152	4.88	163,119,254	4.75	2,054,102	1.26
商 工 費	217,086,020	6.57	225,482,503	6.56	8,396,483	3.72
土 木 費	573,941,810	17.37	494,797,858	14.39	79,143,952	16.00
消 防 費	228,603,856	6.92	188,667,367	5.49	39,936,489	21.17
教 育 費	338,309,487	10.24	325,817,128	9.48	12,492,359	3.83
災 害 復 旧 費	0	0	20,403,305	0.59	20,403,305	皆減
公 債 費	344,382,345	10.42	341,875,266	9.95	2,507,079	0.73
諸 支 出	12,355,000	0.37	13,800,000	0.40	1,445,000	10.47
合 計	3,304,279,192	100.00	3,437,195,094	100.00	#####	3.87

2. 平成19年度国民健康保険特別会計の概要

国保会計の決算額は、歳入6億8,003万9,294円、歳出6億6,368万881円で歳入歳出差引額は、1,635万8,413円となっているが、前年度繰越金などを控除した実質単年度収支額は、333万3,723円の赤字で、前年度より3,203万6,946円減額となっている。

(単位:円)

区 分	平成19年度	平成18年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
収 入 総 額	680,039,294	646,409,905	33,629,389	5.20
支 出 総 額	663,680,881	625,717,769	37,963,112	6.07
実 質 収 支 額	16,358,413	20,692,136	4,333,723	20.94
前 年 度 繰 越 金	20,692,136	26,082,805	5,390,669	20.67
基 金 取 崩 額	0	30,000,000	30,000,000	皆減
基 金 積 立 金	1,000,000	20,000	980,000	4900.00
実 質 単 年 度 収 支 額	3,333,723	35,370,669	32,036,946	90.57

(1) 歳入決算の状況

歳入のうち国民健康保険税は、前年度より391万100円増の、2億579万700円の収入済額となっている。しかし、近年の厳しい経済情勢下の中で、徴収策として短期保険証、資格者証交付等を利用して徴収に努めた結果、新たな滞納者は発生したものの収入未済額は減額となっている。今後も繰り越される未収金についての徴収に努力されたい。
また、不納欠損額については、前年度より31万8,600円少ない127万9,100円となっているが、この不納欠損額については、地方税法の規定に該当するもので、やむを得ないものと思われる。

歳 入 決 算 の 状 況

(単位:円)

区 分	平成19年度	平成18年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
予 算 現 額	678,398,000	645,588,000	32,810,000	5.08
調 定 額	701,870,994	669,011,105	32,859,889	4.91
収 入 済 額	680,039,294	646,409,905	33,629,389	5.20
不 納 欠 損 額	1,279,100	1,597,700	318,600	19.94
収 入 未 済 額	20,552,600	21,003,500	450,900	2.15
予算現額と収入済額との比較	1,641,294	821,905	819,389	99.69
収入済額の予算現額に対する割合	100.24%	100.13%		0.11
収入済額の調定額に対する割合	96.89%	96.62%		0.27

(2) 歳出決算の状況

少子高齢化が進行していくなかで、退職被保険者の割合も年々増加している現状で、療養諸費、高額療養費など保険給付費は昨年度より628万6,936円(1.46%)の増加となっている。今後も増加すると思われることから、健全な国保会計を維持するため、健康管理の重要性について啓蒙普及を図るとともに、引き続き指導体制を強化するなど、村ぐるみで健康保健活動に取り組まれるよう努力されたい。

歳 出 決 算 の 状 況

(単位:円)

区 分	平成19年度	平成18年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
予 算 現 額	678,398,000	645,588,000	32,810,000	5.08
支 出 済 額	663,680,881	625,717,769	37,963,112	6.07
不 用 額	14,717,119	19,870,231	5,153,112	25.93
(うち、予備費)	(13,949,000)	(19,345,000)	5,396,000	27.89
支出済額の予算現額に対する割合	97.83%	96.92%		0.91

3. 平成19年度老人保健特別会計の概要

老人保健会計の決算額は、歳入6億1,896万8,594円、歳出6億1,634万2,868円で歳入歳出差引額は262万5,726円となっている。

老人保健法の基本的理念に基づき運営されているが、全国的に医療費が上昇を続ける中において本村の老人医療費も昨年度より約410万円増額となった。今後も施設等の有効活用と積極的な保健活動により、老後における健康の保持と適切な医療の確保を図るよう努められたい。

(単位:円)

区 分	平成19年度	平成18年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
収 入 総 額	618,968,594	617,087,746	1,880,848	0.30
支 出 総 額	616,342,868	611,332,736	5,010,132	0.82
翌年度繰越金	-	-	-	-
実 質 収 支 額	2,625,726	5,755,010	3,129,284	54.37

4. 平成19年度介護保険特別会計の概要

介護保険会計の決算額は、歳入6億1,015万7,510円、歳出6億94万5,928円で歳入歳出差引額は、921万1,582円となっている。

(単位:円)

区 分	平成19年度	平成18年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
収 入 総 額	610,157,510	583,107,794	27,049,716	4.64
支 出 総 額	600,945,928	570,053,345	30,892,583	5.42
翌年度繰越金	-	-	-	-
実 質 収 支 額	9,211,582	13,054,449	3,842,867	29.44

(1)歳入決算の状況

歳入のうち、介護保険料は前年度より420万9,700円増の、1億721万8,200円の収入済額で、収入未済額は94万9,400円である。今後も繰越される未収金については、厳しい経済情勢ではあるが収納確保に万全を期されたい。

また、不納欠損額については11万2,600円であるが、介護保険法の規定に該当するもので、むを得ないものと思われる。

歳 入 決 算 の 状 況

(単位:円)

区 分	平成19年度	平成18年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
予 算 現 額	609,882,000	583,093,000	26,789,000	4.59
調 定 額	611,219,510	584,096,594	27,122,916	4.64
収 入 済 額	610,157,510	583,107,794	27,049,716	4.64
不 納 欠 損 額	112,600	182,600	70,000	38.34
収 入 未 済 額	949,400	806,200	143,200	17.76
予算現額と収入済額との比較	275,510	14,794	260,716	1762.31
収入済額の予算現額に対する割合	100.05%	100.00%		0.04
収入済額の調定額に対する割合	99.83%	99.83%		0.00

(2)歳出決算の状況

歳出については、保険給付費が昨年度より2,976万7,855円増の5億6,277万7,491円となっている。要介護認定者数は、昨年より10人減少し354人である。認定者は減少したものの、給付費は年々増加している現状を踏まえ、平成18年4月の法改正により、地域支援事業が創設されたことから、地域包括支援センターを中心に保険事業と連携を深めながら、尚一層の介護予防事業を推進していただきたい。

歳出決算の状況

(単位:円)

区 分	平成19年度	平成18年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
予 算 現 額	609,882,000	583,093,000	26,789,000	4.59
支 出 済 額	600,945,928	570,053,345	30,892,583	5.42
不 用 額	8,936,072	13,039,655	4,103,583	31.47
(うち、予備費)	(8,774,000)	(13,024,000)	4,250,000	32.63
支出済額の予算現額に対する割合	98.53%	97.76%	0.008	0.77

5.平成19年度競輪事業特別会計の概要

競輪事業会計の決算額は、歳入146億814万8,156円、歳出145億9,530万6,611円で歳入歳出差引額は、1,284万1,545円となっており、前年度繰越金などを控除した実質単年度収支額は、1,930万8,676円の黒字となっている。

(単位:円)

区 分	平成19年度	平成18年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
収 入 総 額	14,608,148,156	13,964,907,644	643,240,512	4.61
支 出 総 額	14,595,306,611	13,950,074,775	645,231,836	4.63
実 質 収 支 額	12,841,545	14,832,869	1,991,324	13.43
基 金 積 立 金	21,300,000	145,150,000	123,850,000	85.33
前 年 度 繰 越 金	14,832,869	14,473,358	359,511	2.48
基 金 取 崩 額	0	145,050,000	145,050,000	皆減
実質単年度収支額	19,308,676	459,511	18,849,165	4102.01

(1)歳入決算の状況

全国的に売上の低迷が続くなか、当競輪では記念競輪で初の90億円を超え、普通競輪においても、3日少ない開催日数にもかかわらず、売上、入場者数とも増加に転じた。開催日程の取り方にも大きく影響していると考えられるが、CS放送の充実で、電話投票の売上が伸びたことが要因しているものと考えられる。

歳入決算の状況

(単位:円)

区 分	平成19年度	平成18年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
予 算 現 額	14,607,159,000	13,964,400,000	642,759,000	4.60
収 入 済 額	14,608,148,156	13,964,907,644	643,240,512	4.61
予算現額と収入済額との比較	989,156	507,644	481,512	94.85
収入済額の予算現額に対する割合	100.01%	100.00%		0.01

(2) 歳出決算の状況

これまでも開催経費の削減に努めてきているが、創設された交付金還付制度を有効に活用し、老朽化した施設の改修やファンサービスの充実を図り、安定した経営基盤の確立を強く望むものである。

歳 出 決 算 の 状 況

(単位:円)

区 分	平成19年度	平成18年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
予 算 現 額	14,607,159,000	13,964,400,000	642,759,000	4.60
支 出 済 額	14,595,306,611	13,950,074,775	645,231,836	4.63
不 用 額	11,852,389	14,325,225	2,472,836	17.26
(うち、予備費)	(9,438,000)	(13,380,000)	3,942,000	29.46
支出済額の予算現額に対する割合	99.92%	99.90%		0.02

6. 平成19年度温泉事業特別会計の概要

温泉事業会計の決算額は、歳入1億9,335万7,726円、歳出1億8,921万7,090円で歳入歳出差引額は、414万636円となっているが、前年度繰越金などを控除した実質単年度収支額は、397万7,352円の黒字となっている。

(単位:円)

区 分	平成19年度	平成18年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
収 入 総 額	193,357,726	138,644,246	54,713,480	39.46
支 出 総 額	189,217,090	138,380,962	50,836,128	36.74
実 質 収 支 額	4,140,636	263,284	3,877,352	1472.69
基 金 積 立 金	100,000	45,280,000	45,180,000	99.78
前 年 度 繰 越 金	263,284	45,181,656	44,918,372	99.42
基 金 取 崩 額	0	0	0	-
実 質 単 年 度 収 支 額	3,977,352	361,628	3,615,724	999.85

7. 平成19年度宅地造成事業特別会計の概要

宅地造成事業会計の決算額は、歳入2億5,794万8,000円、歳出4億4,007万8,459円で歳入歳出差引額は、1億8,213万459円の赤字となっているが、この収入不足については、翌年度の歳入を繰上げ充用金として補てんした。

(単位:円)

区 分	平成19年度	平成18年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
収 入 総 額	257,948,000	-	-	-
支 出 総 額	440,078,459	-	-	-
実 質 収 支 額	182,130,459	-	-	-

第4. 財産管理状況

普通財産においては、宅地造成地の未売却地10,183.45㎡をはじめ、関連の管理地、やひこ桜井郷温泉民活関連事業用地などの取得があったため、12,987.16㎡増となっている。今後は、遊休土地の中から売却可能な土地を選定し、売却するなどの確な財産管理に努められることを切に望むものである。

第5. 基金の運用状況について

本年度中における基金については、2基金で取り崩しもあったが、9基金で積み立てした結果、3,176万5,000円増の17億8,040万5,000円となった。主なものとして、財政調整基金については、1,000万円を積み立て、3億3,000万円となっている。また、国民健康保険給付準備基金についても、取り崩しすることなく、100万円を積み立て、7,030万円となっている。競輪事業関係では、財政基金に130万円、施設等整備基金2,000万円それぞれ積み立てたことから、2基金の総額では、12億2,140万円となっている。